

全関西および新人戦の「冠大会」化について

2026.1.24 理事会

2025年度の全事業を振り返ると、関西女子学連の加盟校数は、前年から4校減の39チームで、2022年度と比べると22%の大幅減となっている。また加盟校の加盟人数合計（会員合計）は前年から15名増にはなっているが、2022年度と比べると14%減となっている。少子化の進行で、大学のクラブ活動が低調になり女子バスケットボールもその傾向が現れている可能性がある。

加盟に届かないチームの事情をヒアリングすると、費用負担の重さ、支払期限の厳しさ、そして大学からの補助が得られないなど、部員数はかろうじてクリアできても加盟や大会出場に届かない大学もある。こうしたなか、少しでも多くのチームが関西女子学連に加盟し大会に参加できる環境を整えることがますます重要になっている。

その一環として、別途運営協力費の引き下げを提案している。また日常的経費執行の厳格化を進めながら、収入拡大の道を検討することとし、その施策として、協賛協力企業との関係強化と冠大会化を検討することとする。

1. 冠大会の意義

当連盟と関係性が深く、連携を強化することがふさわしい協賛協力企業に対して、いま一段の協力要請を行うこととし、その方策として、大会名に企業名を冠し、優勝杯を提供いただくことを前提に協賛金の大幅増額を働きかけることとする。

企業にとっては知名度向上にもつながり、バスケットを応援する企業との認知が生まれることは企業イメージ向上にも寄与するものと推察される。

2. 冠大会を提案する大会と協賛企業について

当連盟が独自で主催する大会は4大会であるが、さしあたり全関西と新人戦について、企業に提案することとする。特に年度の前半期は各チームの財政事情も厳しく、協賛が得られれば、参加費の低減の可能性も生まれることから、当連盟としても両大会への協賛増額は、大きな意義がある。

冠大会とする協賛をお願いする企業としては、協賛金額が大きく、平素よりお世話になっている企業に当たることとする。企業名は、「折衝事」であるため、会長一任とさせていただきます、決定次第報告することとする。

協賛金額は、冠大会とすることに伴い、従前の金額に加えて、全関西の場合は50万円以上、新人戦の場合は40万円以上をお願いすることとするが、こちらも「折衝事」であるため、会長一任とする。

3. 今後の進め方

2026年度協賛協力依頼を行う際に、該当企業を訪問し提案を行う。訪問は1月中に行う。当該企業には、会長または副会長と専務理事、学生委員代表で訪問する。

結果は、随時理事会、常任理事会で報告する。なお承諾していただける企業がないときは、例年通りの大会とする。

また協賛企業全体についても、協賛のメリットを出せるように、各チームに協賛企業一覧を配布する、各企業等のイベントなどはチームに広報できるようにするなど、今後工夫を広報渉外部において検討する。

(以上)